

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和 7 年 8 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 2、図 3）

25 日に気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」が実施した海上からの観測では、硫黄岳火口で引き続き白色の噴気を確認しました。硫黄岳火口及びグスク火山火口周辺の海域では、変色水域は認められませんでした。



図 1 硫黄鳥島 硫黄岳火口及びグスク火山火口の位置と図 2 及び図 3 の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 硫黄島 硫黄岳火口周辺の状況（25日）

- ・ 気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」による観測では、前回（2025年7月）の観測に引き続き硫黄岳火口で白色の噴気が認められました。また、周辺海域では変色水域は認められませんでした。



図3 硫黄島 グスク火山火口の状況（25日）

- ・ グスク火山火口の周辺海域では変色水域は認められませんでした。